日ごろの成果を発表
二戸市文化祭

ステージの部（日本文化のつどい）

二戸市文化祭は11月3～5日、市民文化会館やなにゃーと、浄法寺文化交流センター（Jホール）、各公民館など市内8カ所で開かれ、趣味やサークル活動などを楽しむ人たちが日ごろの成果を発表しました。各会場には、絵画や書道、水墨画、ちぎり絵、生け花、盆栽、菊花、手芸、木工、陶芸など、さまざまなジャンルの作品が並び、来場者は足を止め熱心に鑑賞していました。

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

7／木工作品（金田一コミュニティセンター）　8／木のつるで作られた籠（石切所公民館）　9／生け花展（市民文化会館）10／立体的に見える絵画（堀野生きいき交流センター）　11／MOA光輪花クラブ（金田一コミュニティセンター）　12／俳句（Jホール）　13／盆栽（堀野生きいき交流センター）　14／籠（堀野生きいき交流センター）　15／絵手紙（中央公民館）　16／書道（なにゃーと）

1／相馬大作の愛刀と脇差（歴史民俗資料館）　2／菊花展（なにゃーと）3／脳いきいき教室で作った人形「にわとり親子」（中央公民館）　4／菱刺しのバッグ（石切所公民館）　5／二戸小品盆栽会（文化会館）6／陶器（Jホール）

あっぴ・まべちコラボ展

市観光協会は今年４月に市内にあった３協会を合併したことを記念し 11 月３日～５日、ギャラリー繁孝であっぴ・まべちコラボ展を開催しました。３日間で約 600 人が来場。来場者は、市在住の塗師岩舘隆（たかし）さん、市ゆかりの画家荒田秀也（ひでや）さん、陶芸家村上世一（よいち）さんらの繊細かつ迫力ある作品に圧倒されました。

多くの人をうならせる作品が並びました

地域の人たちとのふれあいも

ふれあい文化祭

福岡第 10 区町内会は 11 月 11 日、12 日の両日、農村勤労福祉センター２階体育室でふれあい文化祭を開催しました。会場には地域住民から出品された絵画や書、焼き物のほか横庁の歴史展として古地図や写真なども展示されました。門ノ沢佳子（けいこ）さんは「絵や書など１カ所で芸術を堪能できる。内容の濃い、質の高い作品がそろっている」と語りました。

日展で入選

改組 新 第４回日本美術展覧会（公益社団法人日展主催）が 11 月３日に開幕し、洋画部門で高田啓介（けいすけ）さん（足沢）、書道部門で菅原ゆかりさん（福岡）と佐藤千香（ちか）さん（金田一出身、奥州市）が入選されました。

高田さんは 15 回目、菅原さんは 16 回目、佐藤さんは初入選です。12 月 10 日まで東京都の国立美術館で展示されています。

高田啓介さん 「北の踏切」 （135㎝× 165㎝）

澤藤華星（菅原ゆかり）さん 「鄭畋詩」 （230㎝× 53㎝）

佐藤千香さん 「王屋詩」 （228㎝× 53㎝）